

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成26年度取組結果】

団体名	株式会社 北九州輸入促進センター
-----	------------------

所管課	産業経済局 国際ビジネス政策課
-----	-----------------

団体に対するミッション
<p>小倉駅新幹線口エリアにおけるまちづくりの中核施設として、新たな「ビジネス」「交流」「人材」「モノ」を創出・育成する「はぐくみの拠点AIM」という、市が定めたビルコンセプトに基づいたテナント誘致を行い、健全な経営のもと、AIMビルの管理・運営を行う。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>現在、AIMビルへの積極的なテナント誘致活動により、経営状況が安定化してきており、施設設備の老朽化に伴う大規模修繕費用の負担も踏まえつつ、今後とも健全経営の維持に努める。</p>

ミッションに基づく中期計画							
3~5年後に目指す状態	継続して積極的なテナント誘致活動を行い、ビル入居率の維持、向上に努めると同時に、単年度決算での黒字を今後も確保し続けることを目指す。						
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H25 実績	H26 目標 実績		H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標
ビル全体の入居率	85%	85%	89%	86%	87%	88%	89%
単年度黒字の継続	31,041千円	黒字	173,054千円	黒字	黒字	黒字	黒字

ミッションの遂行状況の評価（平成26年度）			
団体における評価	ビル全体の入居率が目標を上回り、単年度黒字の継続も達成しており、健全経営というミッションにつながる成果を上げることができた。	市の評価	積極的な誘致活動により、目標を上回る入居率を維持しており、黒字化の目標を達成している点は、非常に評価できる。
今後の課題及び見直し内容	施設・設備の老朽化が進んでおり、今後も経営状況等を勘案しながら、長期修繕計画に沿った大規模修繕を行なう。	団体への改善指導内容	引き続き、新規テナントの積極的な誘致を求める。長期修繕計画に基づく大規模修繕をはじめ、テナントサービスの向上に努めることで、単年度黒字の維持を求める。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	特に経営状況を注視する団体
<p>不動産業者を定期的に訪問したり、不動産業者に対して情報提供するなど積極的にテナント誘致活動に取り組むとともに、重点的に4、5階フロアへの空区画部分へのテナント誘致を進めた結果、富士ゼロックス福岡などが入居し、入居率が向上した。その結果、当期純利益は173,054千円となり黒字を確保することができた。</p>	